

海外経済

|         |        | 2016年3月  | 2016年4月 |
|---------|--------|--|---------|
| 世界経済    |        | <p>世界の景気は、弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、原油価格等の下落の影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</p> | (変更なし)  |
| アメリカ    |        | <p>アメリカでは、企業部門の一部に弱めの動きもみられるが、景気は回復が続いている。</p> <p>先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化の影響、原油価格下落の影響、ドル高の影響等に留意する必要がある。</p>                                       | (変更なし)  |
| アジア地域   | 中国     | <p>中国では、景気は緩やかに減速している。</p> <p>先行きについては、各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれる。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>  | (変更なし)  |
|         | その他アジア | <p>韓国では、景気は内需を中心に持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は弱い動きとなっている。インドネシアでは、景気は内需を中心に持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は内需を中心にこのところ持ち直しの動きがみられる。インドでは、景気は内需を中心に緩やかに回復している。</p>               | (変更なし)  |
| ヨーロッパ地域 | ユーロ圏   | <p>ユーロ圏では、企業部門の一部に弱めの動きもみられるが、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、企業部門の一部に弱めの動きもみられるが、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響等に留意する必要がある。</p>      | (変更なし)  |
|         | 英国     | <p>英国では、景気は回復している。先行きについては、回復が続くと見込まれる。</p>  | (変更なし)  |